

事務事業実績測定調書

事務事業名称		監査委員監査事務															
測定年度		2020 (R2) 年度					部	監査委員事務局			課	監査委員事務局					
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4			
総合計画体系		基本目標			6.計画の推進に向けた基盤づくり												
		施策目標			31.持続可能な行財政運営を進めます												
		実行計画名															
1. 事務事業の概要																	
種類		内部管理			特性			内部事務			区分			一般内部管理事務			
事業期間		1947 (S22) 年度				年度		～		年度まで							
根拠法令等		地方自治法第199条等															
関係補助金名称												サンセット				～	
関係附属機関名称																	
事業対象		メインターゲット		住民の福祉の増進と公正かつ効率的、効果的な行財政の運営の実現を行えていない職員・職場													
		サブターゲット		本市が行う事務や事業が、公正かつ効率的、効果的に行えていないことにより不利益を被る市民等													
		ターゲットが抱える課題		日常業務に追われる等様々な要因により、公正かつ効率的、効果的な行財政運営の実現が行えていないこと。													
		ターゲットが抱える課題															
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		公正かつ効率的、効果的な行財政運営の実現により、住民の福祉が増進できている状態。															
事業概要		市の財務に関する事務の執行や経営にかかる事業の管理、一般行政事務の執行等について、公正で効率的な執行であるか等、監査委員の監査を実施する。															
2. ロジックモデル及び指標設定																	
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
						公正かつ効率的、効果的な行財政運営ができる。				法準拠性監査、財務監査、業務の効率性・有効性の監査等、監査委員の監査を実施する。							
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		指標説明				監査を実施した部署数 (定期監査、臨時監査、財政援助団体監査)				監査の対象部署数 (定期監査、臨時監査、財政援助団体監査)							
		単位				単位				箇所							
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
				目標 (見込み)					10	10	10	10	10	10	10	10	
				実績					11				11				
達成度						110%				110%							
分析						ほぼ想定通りであった。				ほぼ想定通りであった。							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.18
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	1.67
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	31,842	25,494	25,361		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,326	2,289	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	34,168	27,783	25,361		
	物件費計		58	57	57	90	63%
歳出計		34,226	27,840	25,418			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			34,226	27,840	57	90	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度は想定通りであったが、新型コロナウイルス感染症の影響による職員の交代制勤務等の実施を踏まえ、定期監査の実施手法の一部見直しを行い、被監査部署等の負担軽減につなげた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	法準拠性監査、財務監査、業務の効率性・有効性の監査等、質の高い監査委員の監査を実施する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	決算等審査事務									
測定年度	2020 (R2) 年度			部	監査委員事務局			課	監査委員事務局	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり							
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます							
	実行計画名									
1. 事務事業の概要										
種類	内部管理		特性		内部事務		区分		一般内部管理事務	
事業期間	1947 (S22) 年度			年度	～					年度まで
根拠法令等	地方自治法第233条、235条、241条・地方公営企業法第30条・地方財政健全化法第3条、22条									
関係補助金名称							サンセット			～
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット		財務事務を執行する職員							
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題		日常業務に追われる等様々な要因により、公正で効率的な財務事務の執行が確保されてない場合があること							
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公正で効率的な財務事務の執行が確保されている状態									
事業概要	会計管理者及び公営企業管理者の権限に属する毎月の現金出納検査とともに、市長から審査に付される歳入歳出決算書等決算資料、健全化判断比率等算定書類、基金の運用状況に関する調書等について、能率性、効率性、適法性等について総合的に審査し、監査委員の意見をまとめた決算審査意見書等を作成し市長に提出。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						公正で効率的な財務事務の執行が行われる。				決算等について、能率性、効率性、適法性等についてを総合的に審査する。					
指標設定	指標説明						決算審査実施件数				決算審査対象件数				
			単位				単位		件		単位		件		
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						15	15	15	15	15	15	15	15
		実績						15				15			
	達成度						100%				100%				
	分析						想定通りであった。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	1.33
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	24,837	23,905	23,770		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,853	1,823	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	26,690	25,728	23,770		
	物件費計		223	360	248	250	99%
	歳出計		26,913	26,088	24,018		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			26,913	26,088	248	250	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、想定通りであった。今後も効率的な事務執行に努めていく。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	毎月の例月現金出納検査の実施、前年度の審査意見を踏まえた決算審査意見書等の作成を行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称		監査委員事務局運営事務																	
測定年度		2020 (R2) 年度					部	監査委員事務局				課	監査委員事務局						
市長公約との関係		所信表明				市政運営方針		R2			R3			R4					
総合計画体系		基本目標			9.施策体系外														
		施策目標			99.施策体系外														
		実行計画名																	
1. 事務事業の概要																			
種類		内部管理			特性			庶務的事務				区分			庶務的内部管理事務				
事業期間		不明					年度	～									年度まで		
根拠法令等		決裁																	
関係補助金名称												サンセット					～		
関係附属機関名称																			
事業対象		メインターゲット			課職員														
		サブターゲット																	
		ターゲットが抱える課題			課の運営を円滑に行う必要がある														
		ターゲットが抱える課題																	
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		課の運営が円滑に行われることにより、本来業務に力を注ぐことができる状態																	
事業概要		課の運営業務																	
2. ロジックモデル及び指標設定																			
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)							
指標設定		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)							
		指標説明																	
																	単位		
		指標種類																	
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
				目標 (見込み)															
		実績																	
達成度																			
分析																			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.29
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
(千円)

			H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,575	15,586	15,325		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	11,575	15,586	15,325		
	物件費計		645	638	299	365	82%
	歳出計		12,220	16,224	15,624		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計		0	0	0	0	
一般財源			12,220	16,224	299	365	

5. 総括的分析

総括的分析	運営事務(庶務事務)について、円滑に行うことができた。
-------	-----------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	運営事務(庶務事務)について、引き続き効率性、有効性の観点から改善に取り組む。